

令和8年度岩倉市当初予算案について

1 全体の特徴

市長就任3期目の実質2年目の当初予算案となります。中間見直しを行った「第5次岩倉市総合計画」を着実に実行に移していくとともに、マニフェストに掲げた「住むなら岩倉！子育て・健幸・安心なまち3.0」の実現に向けて、各種施策の推進を加速化させます。

令和8年度当初予算案での主な事業は次のとおりです。（ページは新規主要一覧）

- 令和9年4月の開園に向け、令和7年度から着手した五条川小学校区統合保育園の建設工事を引き続き実施します。1,144,821千円（P.7）
- 令和9年4月の開園に向け、石仏公園のサッカーグラウンドや球場の整備を進めます。435,444千円（P.19）
- 市民の皆様が快適に手続きを行える環境を整えるとともに、災害時の防災拠点としての機能を維持するため、市役所庁舎の空調設備を改修します。356,899千円（P.1）
- 令和7年12月に新規事業化が決定された名神高速道路スマートインターチェンジの整備に向け、詳細設計や用地測量、用地取得などを実施します。190,300千円（P.17）
- 教育環境の向上のため、「未改修の小学校トイレの早期改修」に向け、五条川小学校本館及び岩倉東小学校北館・南館の大規模改修に向けた設計業務を行います。31,031千円（P.22.23）
- 「ふるさとといわくら応援寄附金」を活用し、人気のセレクト給食をさらに充実させます。2,334千円（P.30）
- 犯罪被害者への支援として、犯罪被害者等支援条例を制定するとともに、経済的負担を軽減する支援金を支給します。300千円（P.2）
- 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、次の事業を行います。
 - ・水道料金（基本料金12か月分）の半額免除 86,307千円（P.21）
 - ・学校給食費の支援 32,240千円（P.29）

2 一般会計

令和7年度一般会計予算額は209億2,000万円で、令和7年度当初予算199億2,000万円に対し、10億円、5.0%増と過去最大となります。

【歳出】目的別予算で増減の多い科目

△減額の多い科目（千円、%）

款	令和8年度	比較	前年比	減の要因
9 教育費	1,683,223	△ 618,201	△ 26.9	小中学校屋内運動場等空調設備設置事業や岩倉南小学校西館・南館大規模改修事業の皆減。
7 土木費	1,909,163	△ 194,873	△ 9.3	スマートインターチェンジ整備事業の増の一方で、桜通線街路改良事業や石仏公園整備事業の減。
11 公債費	1,101,190	△ 72,897	△ 6.2	借入事業数約150種類のうち、令和7年度末で償還完了するもの(11事業)と令和8年度から元金の償還が始まるもの(7事業)との差異による減。

○増額の多い科目

款	令和8年度	比較	前年比	増の要因
3 民生費	10,475,653	1,466,918	16.3	五条川小学校区統合保育園整備事業の増（+1,023,010）、障がい福祉の給付費や、認定こども園施設型給付等事業の増、乳児等通園支援事業の皆増、人件費の増 他。
2 総務費	2,472,805	362,927	17.2	庁舎空調設備改修事業の増（+356,899）、人件費等の増 他。
4 衛生費	1,810,291	96,865	5.7	小牧岩倉衛生組合負担金の増（+84,881）、人件費等の増 他。

【歳入】 市 税 75億 670万円（前年比 3億1,665万円増、4.4%増）

（内訳） 個人市民税 31億6,050万円（前年比 2億3,300万円増、8.0%増）
 法人市民税 2億9,740万円（前年比 20万円減、0.1%減）
 固定資産税 31億 545万円（前年比 8,680万円増、2.9%増）
 軽自動車・たばこ・都市計画税 9億4,335万円（前年比295万円減、0.3%減）

【主な基金残高】

財政調整基金 20億7,200万円（7年度末）→14億8,300万円（8年度末）
 減債基金 7億2,400万円（7年度末）→2億3,500万円（8年度末）
 公共施設整備基金 6億9,600万円（7年度末）→6億4,000万円（8年度末）

【市債残高】

88億1,000万円（7年度末）→95億1,700万円（8年度末）

3 特別会計等

・令和8年度岩倉市当初予算の概要 4～31ページ